

2026 10

神無月 October 令和8年 丙午

神武紀元2686年 平成38年 昭和101年
大正115年 明治159年 イスラム暦1448年



仁王像

寺院の門に置かれる仁王像の大小。左右の像のうち、口を開く阿形の像の右腕をズームしたものだろうか。腕のしわが漢字になっており、中央部に「大」、肘から腕の上部にかけて「正、十」、腕の下部分に「十二」、手の平に「七、九」、親指の爪に「四」と書かれている。左側の柱には千社札を模した札に文字が書かれ「ひのと」「天明七」「ひつし」と読むことができ、天明七年(1787)丁未の大の月とわかる。

大小の並びは以下の通り

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
大 小 小 大 小 小 大 小 大 大 小 大

日 Sunday	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday	土 Saturday
第40週  寒露/かんろ 旧暦9月、戌の月の正節で、新暦10月8日頃である。五穀の収穫もたけなわで、朝晩は肌こそぞろ寒気を感じ始めるようになる。寒露とは、晩夏から初秋にかけて野草に宿る露のことを指す。	 霜降/そうこう 旧暦9月、戌の月の中気で、新暦10月23日頃である。秋も末で、霜が降りるという意味から霜降という。この頃になると、早朝などところによっては霜を見るようになり、冬の到来が感じられてくる。	グレゴリオ暦 1582年、グレゴリオ(グレゴリウス)13世がユリウス暦を改正して制定した太陽暦の一つ。現在、世界のほとんどの国で採用されている。日本では1872(明治5)年に採用し、同年12月3日を1873(明治6)年1月1日とした。1年は365日とし、4年ごとに閏年をおいて366日とするが、400年に3回、閏年とせずして平年に戻す。それは、100で割り切れて400で割り切れない年は閏年にしないという規定に基づく。	ハロウィン ケルト暦の1年を締めくくる祭りに起源する行事。もとは死者が帰還し、亡霊や魔女が徘徊する危険な夜でもある。火を焚き、その侵入を防いだ習慣がカボチャの灯火に受け継がれている。イギリスの旧植民地に広がり、アメリカではこどもが仮装をして家々をまわって菓子などをもらう風習である。最近では日本や中国でも年中行事化しつつある。	1  中潮 仏滅	2  小潮 大安	3  小潮 赤口
第41週 4  小潮 先勝	5  長潮 友引	6  若潮 先負	7  中潮 仏滅 三りんぼう	8  中潮 大安	9  大潮 赤口	10  大潮 先勝
八月二十四日	八月二十五日	八月二十六日	八月二十七日	寒露 鴻雁来(こうがんときたる) かりが飛来し始める	八月二十九日	水始涸(みずはじめてかるる) 田の水を落として稲刈りの準備をする
第42週 11  大潮 先負 三りんぼう	12  大潮 スポーツの日 仏滅	13  中潮 大安	14  中潮 赤口	15  中潮 先勝 グレゴリオ暦制定記念日	16  中潮 友引	17  小潮 先負
九月一日	九月二日	菊花開(きくのはなひらく) きのの花が咲き始める	九月四日	九月五日	九月六日	九月七日
第43週 18  小潮 仏滅	19  小潮 大安 旧重陽	20  長潮 赤口 土用入り	21  若潮 先勝	22  中潮 友引	23  中潮 先負 十三夜 三りんぼう	24  大潮 仏滅
蟋蟀在戸(せりぎりすがとにあり) せりぎりすが家の内で鳴く	九月九日	九月十日	九月十一日	九月十二日	霜降 霜始降(しもはじめてふる) 霜が降り始める	九月十四日
第44週 25  大潮 大安	26  大潮 赤口	27  大潮 先勝	28  中潮 友引	29  中潮 先負	30  中潮 仏滅	31  中潮 大安 ハロウィン
九月十五日	九月十六日	九月十七日	霎時施(ささめときどきふる) 時雨が降るようになる	九月十九日	九月二十日	九月二十一日